



2020 年 11 月 25 日

株式会社 iLAC

**コロナ制圧タスクフォースに向けた
全ゲノム・全トランスクリプトーム解析業務の受託について**

現在、慶應義塾大学、東京医科歯科大学、大阪大学、東京大学医科学研究所、国立研究開発法人国立国際医療研究センター、東京工業大学、北里大学、京都大学等によりまして、感染症学、ウイルス学、分子遺伝学、ゲノム医学、計算科学を含む、各分野の専門家からなる共同研究グループ「コロナ制圧タスクフォース」(<https://www.covid19-taskforce.jp/>) が設立され、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の創薬支援推進事業；新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対するワクチン開発における研究開発課題として採択されました「新型コロナウイルス感染症の遺伝学的知見に基づいた分子ニードル COVID-19 粘膜免疫ワクチンの開発」に関するプロジェクト（研究開発代表者：金井隆典教授（慶應義塾大学））が推進されております。

この度、株式会社 iLAC（本社：茨城県つくば市、代表取締役社長：佐藤孝明）は上記の研究開発プロジェクトにおきまして、「全ゲノムシーケンス・全トランスクリプトーム解析業務」を受託いたします。

当社は今後も、COVID-19 制圧へ資する技術力の強化に注力し、関連分野の Key Opinion Leader の研究活動と社会実装に全力で貢献してまいります。

【株式会社 iLAC について】 <http://www.i-lac.co.jp/>

アイラックは筑波大学発のベンチャーとして、個人のゲノムを高速で解読する次世代シーケンサーを国内最大規模で最も効率良く運用し、代謝産物等も含めた統合解析を行うことができる唯一の全ゲノム解析スタートアップです。なお、本 1 月に伊藤忠商事株式会社、3 月に株式会社島津製作所と資本業務提携を行いました。

【本件に関する報道からのお問い合わせ先】

株式会社 iLAC

三好 一生（みよし かずお）E-mail : contactinfo@i-lac.co.jp